

つばさ 翼

No.80

発行日 令和5年10月

尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院

〒722-0393

広島県尾道市御調町市124番地

TEL 0848-76-1111 (代表)

FAX 0848-76-1112

<http://www.mitsugibyoin.com>

安心・安全な医療を受けていただくために

令和5年4月1日付で公立みつぎ総合病院の医療安全管理者を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

安全な医療の提供は、医療の基本となるものであり、施設および職員個人が医療安全の必要性、重要性を自分自身の課題として認識し、安全な医療の遂行を徹底することが最も重要です。

当院では、地域住民の皆さま、患者さまの視点に立った、安心・安全で質の高い医療を提供するために、医療安全指針を策定し医療安全活動を行っています。その中心を担うのが、医療安全管理部です。

医療安全管理部には医療安全管理部長（副院長）、医療安全管理者、医薬品・放射線・医療機器・透析機器のそれぞれの管理責任者が配置され、各部署と共同して、事象の把握、分析、対策立案を行い病院全体で医療安全に取り組んでいます。

医療事故を防止するためには、患者さま・ご家族にも医療安全への取り組みに参加していただくことが必要です。当院においても、患者さまの誤認防止のために、検査や治療においてお名前（フルネーム）・生年月日をおっしゃっていただいています。何度もお聞きすることがありますがご理解ください。また、入院中は、



医療安全管理者

井上 あおい

リストバンドの装着をお願いし、点滴や検査などバーコード認証により患者さまのお名前の確認を行なっています。

入院生活においては、環境の変化に加えて、病気やケガによる運動機能の低下から、思いがけない転倒・転落をおこす危険性があります。入院中は、履きなれたかかとを覆うタイプの滑りにくい靴でお過ごしいただくことも転倒予防の一つです。

その他治療や入院生活に関して不安な点や分からないことなどありましたら、遠慮なく職員にお尋ねください。安全な医療の提供には患者の皆さまが治療に参加していただくことが大切です。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、患者さま、ご家族の医療安全に関するご相談やご意見は地域包括ケア連携室の「医療相談窓口」でお伺いしています。

今後も、地域に信頼される病院づくりに努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



お名前を お願いします。

お名前を私たちは何度もお聞きします。
お名前の確認は医療安全の基本。
フルネームを言うことが一番
確かです。

同姓や似た名前はたくさんあり、あなたの治療にはたくさんの医療者が関わっています。万一、まちがいがおきると、大きな事故につながることもあります。だからフルネームで言うだけでなく、とても助かります。ご理解とご協力をお願いします。

何度も聞いて
ごめんなさい



知っているも
確認します！



医療最前線

2013年にヘリコバクター・ピロリ感染胃炎（いわゆる慢性胃炎）に対する除菌治療が保険適用されてから10年が経ち、内視鏡検査にてピロリ菌感染が疑われた場合、検査を行い、ピロリ菌の現感染が証明されたら除菌治療を行うものということは広く浸透し、ピロリ菌＝除菌治療と多くの人々が認識していると思います。しかしながら、除菌治療をしたらもう何もなくてもいいと思われている方が少なからずいらっしゃるのが現状です。そこで今回は除菌治療後もなぜ定期的に内視鏡検査でのフォローアップを行う必要があるのか、除菌後胃癌に注目して説明させていただきます。

除菌後胃癌とは

ピロリ菌除菌治療によってピロリ菌が除去された後に発見される胃癌は除菌後胃癌と呼ばれています。除菌治療が広まり、除菌後胃癌は相対的に増加しています。除菌治療をすると胃癌のリスクがほぼなくなるとされている方も少なくありませんが、現在の研究では除菌治療によって胃癌発生リスクは1/3程度に減少すると考えられています。またピロリ菌への感染歴のある方は未感染者の150倍程度胃癌になりやすく、除菌治療後も未感染者より50倍程度胃癌になりやすいと考えられています。

早期胃癌治療後 新しい胃癌が発生した人の割合



Fukase K. Kato M.Asaka M.et al. : Lancet.372,9636,392,2008

ピロリ菌.netのHPから引用

No.57

除菌後胃癌

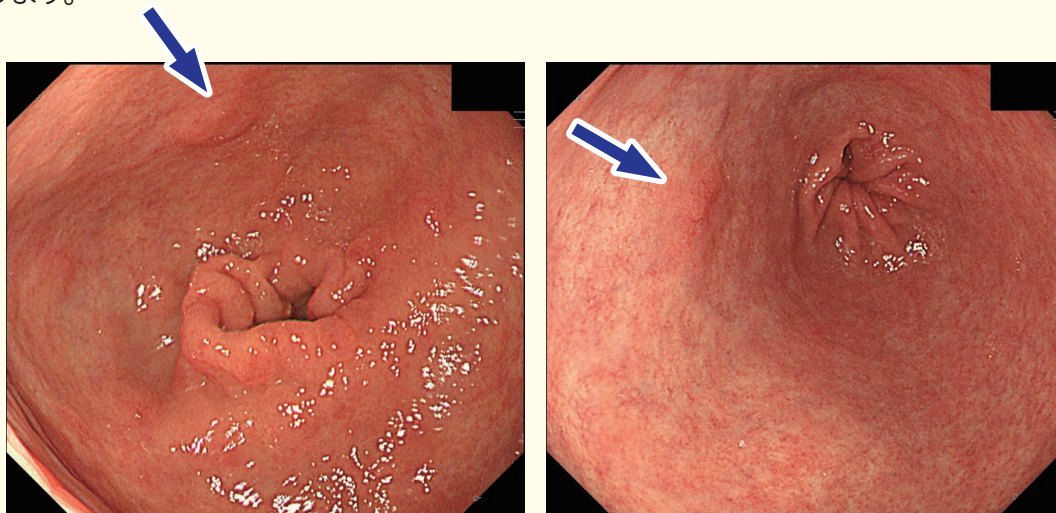
～ピロリ菌除菌治療後もなぜ定期的に
内視鏡検査を受けないといけないのか～



内科医師
下原 康嗣

除菌後胃癌の特徴

ピロリ菌除菌治療後の炎症が改善してきた胃粘膜にできる除菌後胃癌は発赤調、平坦陥凹型で10mm前後の小さいものが多いとされています。これらは除菌後に認めやすい斑状発赤との鑑別が重要で区別がしづらいため、精度の高い内視鏡検査が必要になります。



当院検診で発見された除菌後胃癌 2例

除菌後の経過観察が大切です！

ピロリ菌除菌治療は胃癌発生のリスクを抑えることに成功しましたが、除菌後胃癌の発生する確率は未感染者に胃癌が発生する確率より圧倒的に高率であり、内視鏡検査での定期的なフォローアップはとても重要です。除菌治療を受ける目的は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍などの再発防止、慢性胃炎、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃など様々ですが、除菌治療後のすべての方に除菌後胃癌発生の可能性があります。除菌後胃癌についての検討では、10人に1人は進行胃癌で発見されており、そのほとんどは除菌後に定期的な経過観察を受けていなかったケースだったと報告されています。除菌後胃癌は定期的な内視鏡検査を行うことにより、早期に発見され内視鏡治療のみで根治できる可能性がありますので、定期的なフォローアップをよろしくお願い申し上げます。

デイサービスセンター

こんにちは、デイサービスセンターです！

デイサービスセンターは、介護保険で要支援や要介護の認定を受けられた方が対象です。利用日は月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）で、一日にご利用いただける定員は20名です。利用回数については、利用者さまやご家族のご希望を考慮しながら決定します。

一緒にゲームや体操、間違い探し等を行っています。また、作業療法として、木目込みやぬり絵、ちぎり絵、編み物など、利用者さまそれぞれの好みも考慮しながら取り組んでいただいています。

入浴は、大きな浴槽にゆっくり浸かっていただくことができます。また、温泉なのでしっかり温まることができると好評をいただいております。口腔にトラブルのある方は、歯科衛生士がおりますのでご相談ください。



写真は、作業療法と料理教室の一場面です。利用者さまは笑顔で会話されており、「デイサービスに来て、みんなと話すのは楽しいね」とご利用になるのをとても楽しみにしてくださっています。

皆さまも、生活にメリハリをつけて、心身共に健康に在宅生活を継続するために、デイサービスセンターのご利用をご検討ください。職員一同お待ちしております。

皆さまも、生活にメリハリをつけて、心身共に健康に在宅生活を継続するために、デイサービスセンターのご利用をご検討ください。職員一同お待ちしております。

みつぎの苑 (認知症棟)

春の日差しに誘われて

みつぎの苑 認知症棟では、3年ぶりに施設敷地内に咲く満開の桜を見に行くことができました。桜を見上げ、「今年は桜が見られたね。外に出るとやっぱり気持ちがいいね」と皆さまとてもよい笑顔で、「春が来た」や「幸せなら手をたたこう」などの歌を口ずさみ、ひさしぶりの屋外での活動を楽しまれていました。あたたかな陽にあたり、春風を肌で感じ舞う桜の花びらを見ては和やかな表情をされていました。花見を通して“春”を感じていただけたのではないかと思います。



ユニット棟の中庭には、季節の花を楽しんでいただけるよう小さな花壇があります。職員と一緒に綺麗に咲いたチューリップをみながら、今後どんな花を植えたいかなど話をしたり、日向ぼっこをしたりと、ゆっくりとした時間を過ごすことができました。秋には紅葉を見たり、芋ほりを皆さまと一緒にできるよう計画し、収穫した芋でおやつ作りができればと考えています。

今後も季節を感じていただき、楽しみのある生活の支援が出来るよう職員一同取り組んでまいります。

音楽療法

当院の音楽療法の特徴は、日本音楽療法学会認定音楽療法士2名がリハビリテーション部に配属され、地域包括ケアの一翼を担うことです。病院や附属の保健福祉総合施設、在宅訪問や介護予防など幅広く活動しています。

音楽には、不安や緊張をほぐす癒しの作用や、脳の働きや意欲を引き出す力があります。当院の音楽療法では、これらを有効に利用して、集団や個別の関わりで心と身体の健康に働きかけます。集団では、歌唱や歌体操などで楽しい時間を共有し、発声や活動性の



向上と共に笑顔のある仲間づくりを図ります。個別では、その方の時代背景や生活歴などを伺いながら心身の状態に寄り添い、生活に潤いを提供します。

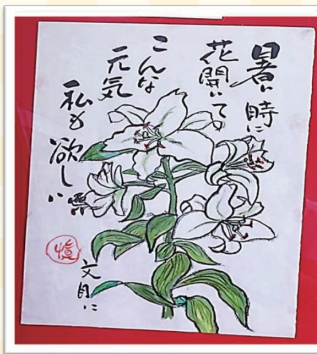
ピアノやバイオリン、フルートなどの音色が少しでも皆さまの心に届きますよう、心をこめて演奏するとともに、今後も地域に溶け込み喜んでいただける音楽療法を展開していきたいと思ひます。



病院ボランティア募集

あなたの“ボランティアの心”を生かしませんか？

公立みつぎ総合病院では病院ボランティアを募集しています。



作品の展示、お花のお世話、受診の案内などいつでも、1日でも、1回でも、何でも興味のある方はぜひお問い合わせください。



【問い合わせ先】 公立みつぎ総合病院 地域包括ケア連携室 TEL 0848-77-0955

認定看護師の紹介

私は、2022年11月に感染管理認定看護師の資格を取得しました。現在は、3病棟で勤務しながら院内の感染管理を担当させていただいています。感染管理の目的は患者さまやご家族、病院職員などの病院に関わる全ての人々を感染症から守ることで、良質な医療とケアを患者さまに提供する事です。

感染管理認定看護師の主な仕事内容は、院内の医療関連感染サーベイランスをもとに感染状況の把握、週1回ICT（感染対策チーム）で院内のラウンド、職員に対して感染に関する研修会などを行っています。

感染管理は組織横断的な活動が必要であり、各部署との連携が重要です。また、職員全員の協力が必要になります。当院でも新型コロナウイルス感染症が院内で発生しましたが職員全員で対応することにより早期の終息ができたと考えています。また、新型コロナウイルス感染症だけではなく、今後どのような感染症が発生するかわかりませんので、平時より適切な感染対策を行っていく必要があると考えています。

感染管理を担当してまだまだ分からないこともあり、皆さまにご迷惑をおかけすることもあると思いますがよろしくお願いいたします。



主任看護師
竹本 敦

尾道市民の
みなさまへ

レディース検診のお知らせ

(乳がん・子宮頸がん検診)

- 日 時：令和5年11月15日（水）
受付 9:00～11:00
- 場 所：道の駅クロスロードみつぎ
- 申込期限：10月4日（水）

受診者にはプレゼント付
(提供：道の駅クロスロードみつぎ)

検診項目	対象者 ※令和6.3.31現在の年齢	自己負担金	
		69歳以下	70歳以上
乳がん	40歳以上の 偶数年齢の女性	500円	400円
子宮頸がん	20歳以上の 偶数年齢の女性		300円

申し込み
方法

① Web（インターネット）予約（24時間申し込み可）
「尾道市けんしん予約ナビ」へアクセス

② 集団健診専用コールセンターへ電話（無料）

☎0120-489-203

受付時間：9:00～17:00
(土・日・祝日除く)

職員の紹介

入職から1年半が経ちました。上司や先輩方に支えられ少しずつ業務にも慣れ、できることも増えてきましたが、患者さまへ服薬指導をする際や他職種の方から相談を受けた際など、まだまだ力不足だと感じることも多く、日々学ぶことの大切さを感じています。



薬剤師
うらべ じゅんな
卜部 純菜

今年度からはじめての後輩ができ、共に業務を行う中で新しく分からないことが出てきたり、自身の未熟さを感じることもよくありますが、一緒に考え、悩みながら共に成長できればと思っています。

皆さまに頼りにしていただけるような薬剤師を目指し、今私にできることは何かを考えながら、患者さまに寄り添った医療が提供できるよう、業務に取り組んでいきたいです。

作業療法士として入職して、2年目となりました。現在、回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。初めはわからないことも多く、不安もありましたが、どなたも優しく声をかけてくださり安心して働くことができています。



作業療法士
こばやし みお
小林 美緒

回復期リハビリテーション病棟は急性期の治療を終え、自宅や社会に戻ってからの生活を少しでも元に近い状態に近づけるためのリハビリを専門に行う病棟です。患者さまが、その方らしい生活を送ることができるよう多職種と連携を取り合い、患者さまやご家族の思いに寄り添いえるよう全力で取り組んでいこうと思います。よろしくお願いいたします。

現在、回復期リハビリ病棟にて勤務しています。回復期では、自宅退院を目指し、朝起きてから寝るまでの入院生活を生活の場として捉え、365日リハビリを行っている病棟です。また、患者さまやそのご家族の意思を尊重し、多職種で関わって退院支援を行っていくことも回復期の特徴であると考えます。回復期においても患者さまの状態は変化するため、主疾患のみならず多方面から患者さまを知る事の重要性を学び、また先輩方に助言をいただきながら、少しずつ自分自身で判断して行動できるようになってきました。多職種という集団がチームとして機能できるよう、患者さまの小さい変化に気付ける看護師を目指し日々精進していきたいと思っています。



看護師
きはら あきよ
木原 晶世

公立みつぎ総合病院の事務職として入職して3年目になり、今年度から医事課で勤務しています。医事課では患者さまが病院に来られ、帰られるまでの診療に係る入口から出口の役割を担う受付業務、外来・入院診療のコストを適切に請求する業務や、施設基準の届出や管理など幅広く行っており、やりがいをもって仕事に向き合うことができています。その中でも各部署と連携して高い収益を上げていくための仕組み作りは重要な課題です。来年度には診療報酬の改定がありますので、しっかりと取り組んでいこうと思います。よろしくお願いいたします。



主任主事
はんだ なおや
半田 直也



医師異動のお知らせ



新任医師



リハビリテーション科医師
たる だ み ほ
樽田美穂

令和5年10月に着任しました樽田美穂です。専門はリハビリテーションです。趣味はカフェ巡りなので、おすすめのお店があればぜひ教えていただきたいです。地域の皆さまの力になれるよう一生懸命がんばりますのでよろしくお願いいたします。

第39回

尾道市御調地区健康福祉展

「笑顔あふれる福祉のまちへ みんなでつなごう健幸の輪」

- 開催日：10月28日（土）10:00～15:00
- 場 所：公立みつぎ総合病院1階ロビー、病院前駐車場
御調保健福祉センター、みつぎいきいきセンター
- 内 容：健康づくり活動パネル展示、体験コーナー（防災教室「防災・応急手当を学ぼう!」
子ども白衣の試着、お菓子を使って調剤（薬剤師）体験
いきいきセンタートレーニング機器体験
子どもコーナー（ぽかぽかみつぎコーナー「昔の遊びを楽しもう!」、カプラで遊ぼう!!）
測定コーナー、バザー、スタンプラリー
屋外ステージ（踊り、太鼓、バルーンアートショーほか）

【問い合わせ先】御調保健福祉センター TEL 0848-76-2235



ご意見、ご感想をお聞かせください

患者さまならびに地域の皆さまと共に作成したいと考えております。ご要望をお待ちしております。

TEL 0848-77-0955 FAX 0848-77-0956
E-mail: tiiki@mitsugibyoin.com
ホームページは「みつぎ病院」で検索

発行：尾道市立総合医療センター
公立みつぎ総合病院 広報誌編集委員会